Ｆ－ＣＳＮＥＴ通信かわら版

令和８年４月

採用・異動・退職時の情報セキュリティリスク

新しい環境へ向かう異動期は、業務の引継ぎや環境の変化によるミス、あるいは情報の持ち出しなどのリスクが最も高まります。

組織の体制が変わる今こそ、情報の「管理不足」や「流出」を防ぐタイミングです。

以下の項目で自社の状況を確認してみましょう。

１　アカウントと権限の整理

□　不要アカウントの削除：退職者や異動者のＩＤ、パスワードがシステムやクラウドに残っていないか

□　権限の付け替え：前任者のアクセス権限がそのまま放置されていないか

□　共有パスワードの変更：部署共通で使用しているアカウントのパスワードを、異動に合わせて変更したか

２　データの整理と引継ぎ

□　私的データの持ち出し禁止：業務で作成した書類等を、個人のクラウドや他の媒体に複製して持ち出してないか

□　放置データの整理：前任者のＰＣやフォルダに情報や各種データが置き去りになっていないか

□　紙媒体のシュレッダー：机の引き出しに残った古い名刺やメモ、書類を整理し、不要なものは廃棄したか

３　新任者、新入社員への教育

□　社内ルールの伝達：自社のセキュリティルール等を新任者、新入社員に説明したか

□　相談窓口の周知：ＰＣの不調、不審メールの受信時における「社内の連絡窓口」を教示したか

出典・参考：ＩＰＡ　中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン

◆　福岡県中小事業者サイバーセキュリティ支援ネットワーク（通称：F-CSNET）とは、県内中小事業者のサイバー犯罪被害の未然防止･拡大防止を目的として、県内の中小企業支援団体と公的機関で構築したネットワークです。

◆　福岡県警察本部サイバー犯罪対策課では、最新のサイバー犯罪の手口や対策などを、X（旧Twitter）やホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

【X】（旧Twitter）

【ホームページ】